

S X P L A S 技術講習会資料

(SXPLAS 7.1)

2012年5月23日

株式会社ユニテクス・ジャパン

目 次

SXPLASの概要	1
操作手順	2
パラメータ定義	3
スクリプト定義	4
フォーム定義	5
バッチ実行	6
印刷環境設定	7
バッチ実行(プレビュー)	10
バッチ実行の流れ	11
ジョブの定義と実行	12

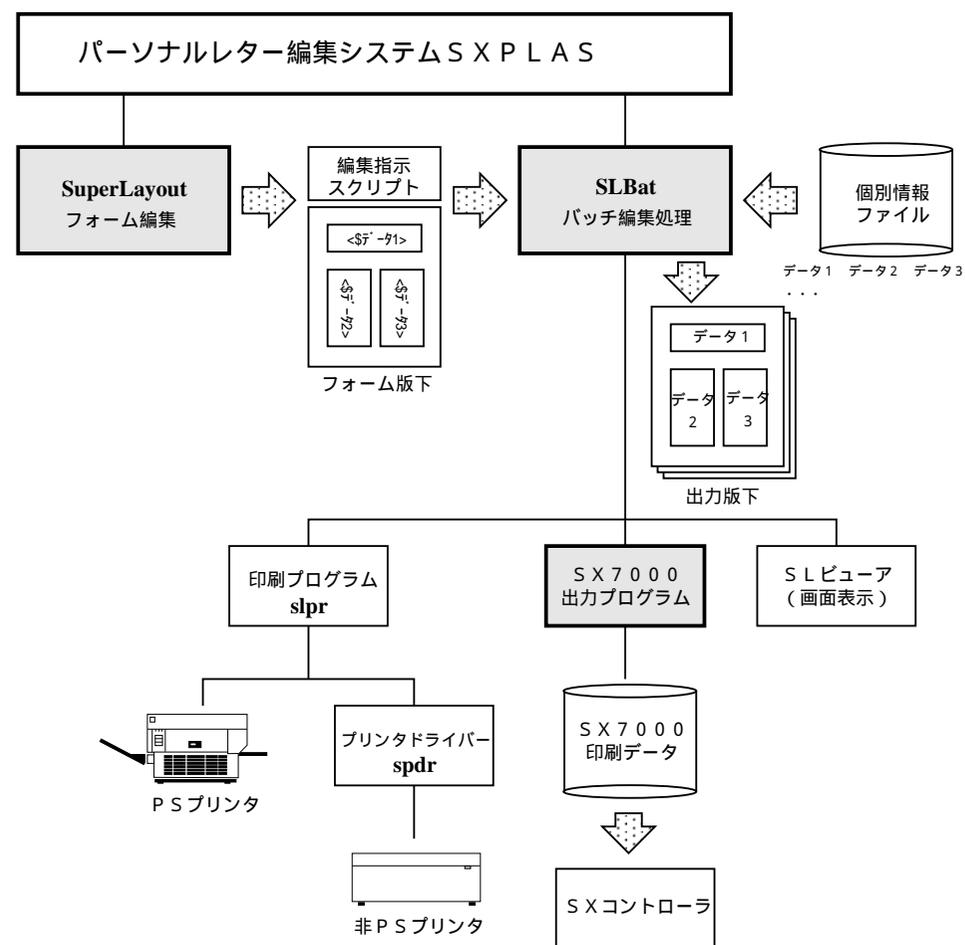
SXPLASの概要

パーソナルレター編集システム SXPLAS は、ワークステーションまたはパソコンのUNIX上で動作します。フォーム版下を作成することにより、バッチ処理で各種のバリエーション印刷用データを簡単にしかも高速に作成するシステムです。

一個のフォーム版下（複数ページ可）から、異なる内容のバリエーション印刷用データを大量（数百件～数十万件）にかつ高速に作成します。

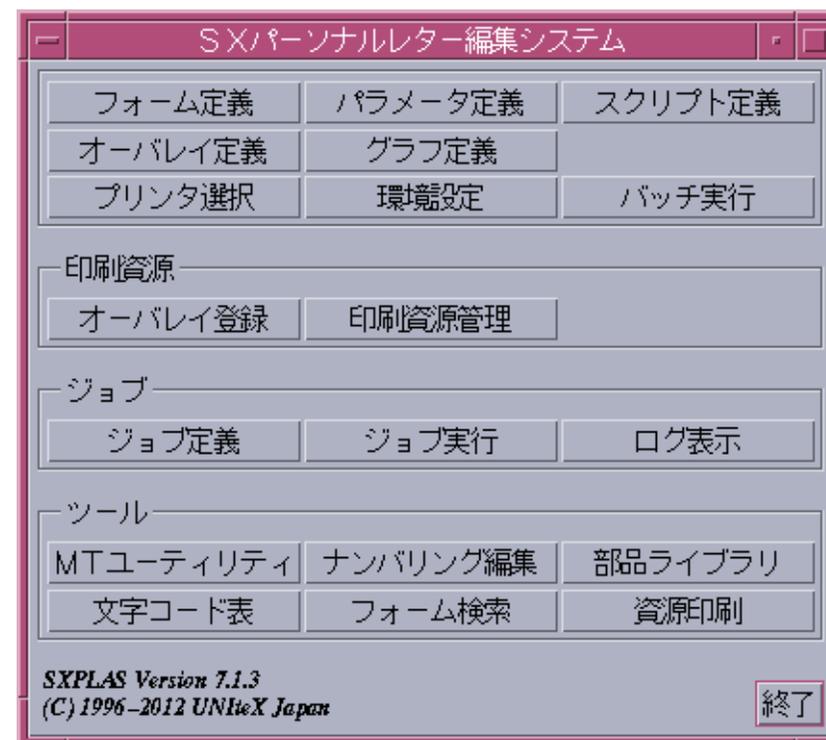
SX7000 やポストスクリプトプリンタやいくつかのページプリンタ用の印刷用データを作成できます。印刷用データは、印刷用マシンに転送し高速印刷することができます。

パーソナルレターの編集システム SXPLAS は、個別情報ファイルから1件ずつデータ（レコード）を読みだし、印刷用データ（複数ページ可）を作成し、全てのレコードを次々に処理していきます。作成されたデータは、指定の印刷データファイルに全て保存されます。



操作手順

- ・ SXPLASの起動
- ・ 入力データの準備
SXPLASで処理する為のデータを用意します。CSVデータでも固定長データでも可。JEF,IBM,JIPS,JIPSE,KEIS,EUC,SJIS,コード、ユニコードをサポートしています。
- ・ パラメータ定義
個別情報ファイル（固定長、CSVデータ）の使用するフィールドに名前を付ける。
- ・ スクリプト定義
パラメータ定義で対応できない処理（条件判定など）がある場合にスクリプトを作成する。
- ・ フォーム定義
フォームのレイアウトとパラメータ、スクリプトを指定する。
- ・ バッチ実行（ビューア、モニタプリントでの確認）
個別情報ファイル、パラメータ、フォームの組を指定し、バッチ編集処理を行い結果を画面で確認する。
- ・ バッチ実行（印刷データファイルの作成）
個別情報ファイル、パラメータ、フォームの組を指定し、印刷データファイルを作成する。
- ・ ジョブ定義
個別情報ファイル、パラメータ、フォームの組を指定し、保存できます。バッチ編集処理を行い結果を画面で確認したり、印刷データファイルを作成します。



パラメータ定義

- データタイプ
 固定長レコード、CSV（カンマ区切り）を選択する。
- 入力コード
 2バイト文字：JEF, IBM, JIPS, JIPSE, KEIS, EUC, SJIS
 UTF-8, UTF-16, UTF-16BE, UTF-16LE
 1バイト文字：EBCDIC, EBCDIK, JIS
- パラメータ
 名前、値、型（数値、文字列）、変換を指定する。
 固定長選択時のフィールド指定

値： フィールド指定 バイト目から バイト 漢字

 CSV選択時のフィールド指定

値： フィールド指定 番目のフィールド 漢字
- スクリプト
 パラメータの値を条件判定で加工する場合などに、スクリプトを指定する。

パラメータ編集 - QRテスト2

データタイプ： 固定長 バイト
 CSV フィールド区切り：

テキスト区切り：

入力コード：

パラメータ	名前	値	型	書式	変換
	QR	29-14	英数カナ	文字列	
	QR1	29-7	英数カナ	文字列	
	QR2	36-7	英数カナ	文字列	

スクリプト：

名前： 配列： 行 列

値： フィールド指定 バイト目から バイト

後部のスペースを削除しない

ファイル指定

文字列指定

型： 書式：

変換：

スクリプト定義

・スクリプト定義

スクリプト名を入力し、「作成」ボタンを押す。

・スクリプト編集

スクリプト編集画面でスクリプトを記述する。

スクリプトは、スクリプト名と同じ名前で関数を記述する。

関数の戻り値は次の意味を持ちます。

- 0 : 処理を続ける (正常)
- 1 : 次のフォームで処理する
- 1 : 処理を終了する

定義済み変数には次のものがあります。

self	スクリプトが設定されているフレーム
page	現在のページ
NR	レコード番号
NP	ページ番号

```

HOME = strcmd("echo $HOME")

TENJI[0] = "代々木ファミリーホーム展示場"
TENJI[1] = "一之江ファミリーホーム展示場"
TENJI[2] = "世田谷ファミリーホーム展示場"
TENJI[3] = "川崎ファミリーホーム展示場"
TENJI[4] = "浦和ハウジングホーム展示場"

TIZU[0] = HOME + "/data/images/tizu00.img"
TIZU[1] = HOME + "/data/images/tizu01.img"
TIZU[2] = HOME + "/data/images/tizu02.img"
TIZU[3] = HOME + "/data/images/tizu03.img"
TIZU[4] = HOME + "/data/images/tizu04.img"

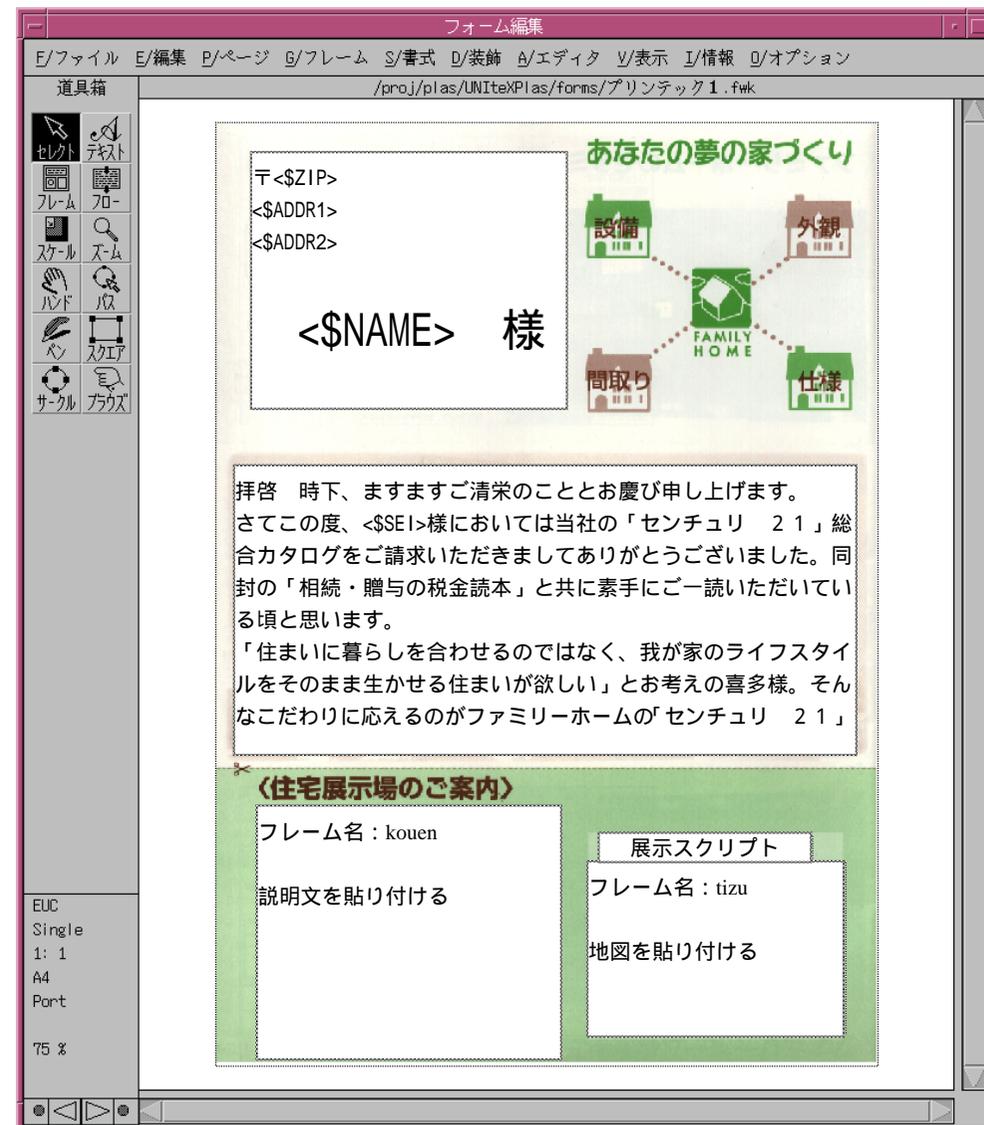
KOUEN[0] = HOME + "/data/docs/kouen00.doc"
KOUEN[1] = HOME + "/data/docs/kouen01.doc"
KOUEN[2] = HOME + "/data/docs/kouen02.doc"
KOUEN[3] = HOME + "/data/docs/kouen03.doc"
KOUEN[4] = HOME + "/data/docs/kouen04.doc"

function 展示() {
    self.setSelection(0, 0)
    self.textInsert(TENJI[PLACE])           # 展示場所を挿入
    frame = page.findFrame("tizu")         # 地図を貼り付けるフレーム
    frame.read(TIZU[PLACE], 0)             # 地図のイメージを読み込む
    frame = page.findFrame("kouen")        # 説明文を貼り付けるフレーム
    frame.read(KOUEN[PLACE], 0)           # 説明文を読み込む
    frame.textMarkup()                     # 説明文のマークを展開
    return(0)
}

```

フォーム定義

- ・ フレーム作成
テキスト、イメージを印字する枠を作成する。
- ・ テキストの入力
印字するテキストをフレームに入力します。パラメータを入力する場合は、 <\$パラメータ名> と入力します。
- ・ フレーム書式を設定
テキストフレームの場合は、テキスト書式として次のような項目を設定できます。
欧文書体（1バイト文字）、漢字書体（2バイト文字）
文字サイズ、文字間、行間、行揃え
- ・ イメージフレームの場合は、イメージ書式として次のような項目を設定できます。
フレームの左上からの印字位置
イメージの倍率
- ・ スクリプトの設定
フレームのスクリプトを設定します。



バッチ実行

- ・ **フォーム版下**
フォーム定義で作成したフォーム版下を選択します。
- ・ **入力データ**
入力データとなる個別情報ファイルを選択します。
- ・ **パラメータ**
パラメータ定義で作成したパラメータを選択します。
- ・ **割付フォーム**
複数のフォームを用紙上に配置する時に指定します。
- ・ **出力プリンタ**
出力するプリンタを選択します。

プレビュー	結果を画面表示
SLPrint	モニタプリント
SX7000[新A Pレコード]	新A Pレコードデータ作成
SX7000[新A Pレコード]転送	データ作成後に転送
NULL	バッチ処理のみ行う
- ・ **出力範囲**
印刷するレコードの範囲を指定する。

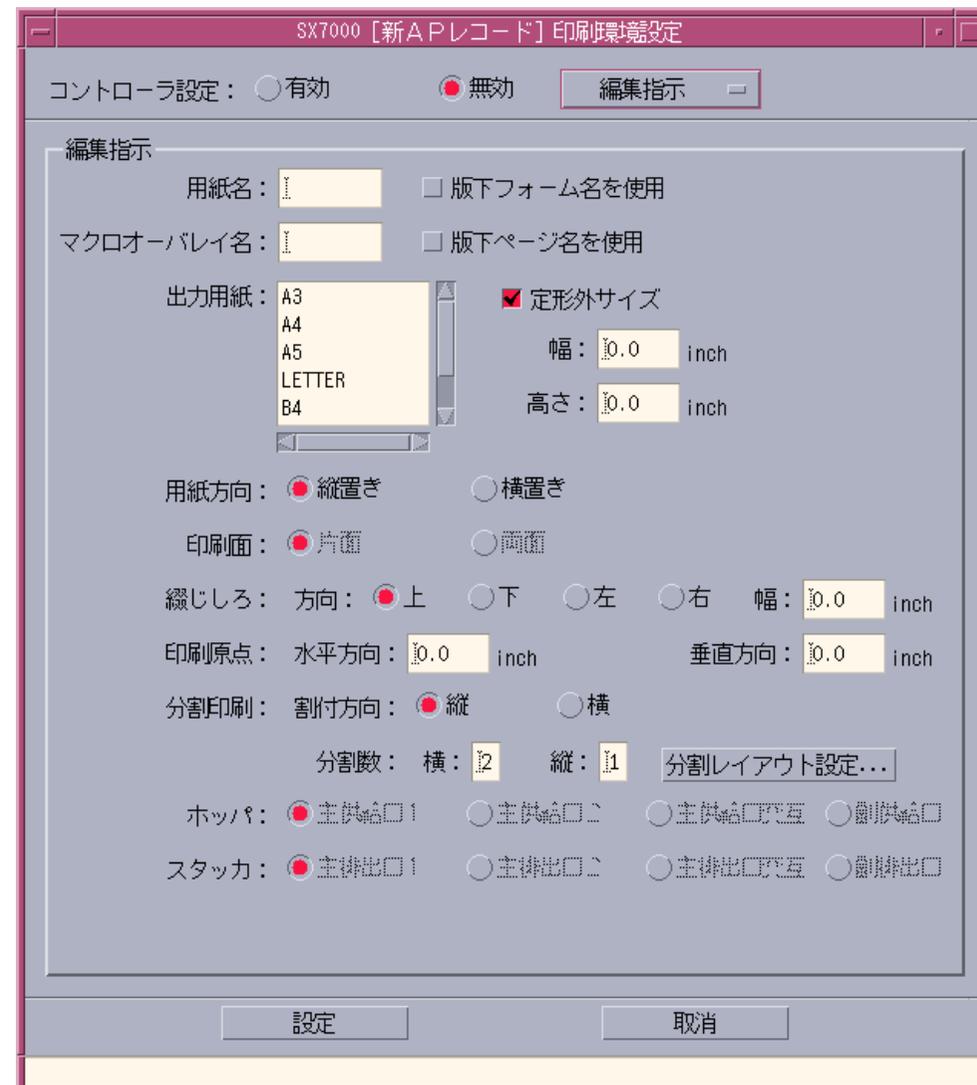
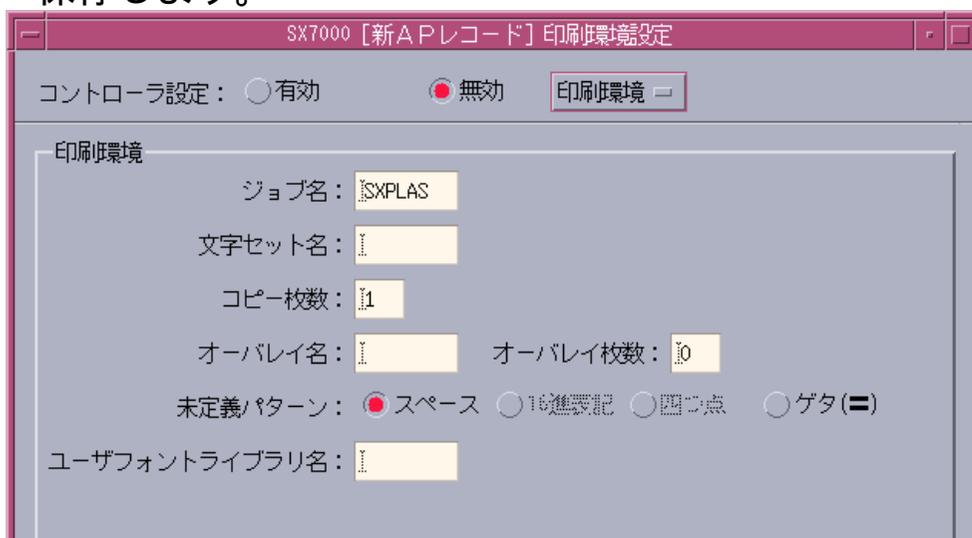
印刷環境設定 (1 / 3)

• 印刷環境設定

印刷環境設定レコード、編集指示レコード、オンライン情報ファイルの内容を指定します。設定項目は、印刷環境、編集指示、A Pモード、オンライン情報、帳票管理情報と切り替えることができます。

コントローラ設定で有効を選択した場合は、印刷環境設定レコード、編集指示レコードを出力しません。

設定内容は、\$HOME/.SX7002SetUp ファイルに保存します。



印刷環境設定 (2 / 3)

SX7000 [新APレコード] 印刷環境設定

コントローラ設定: 有効 無効 APモード

APモード

曲線近似精度:

図形描画モード: 透過 不透過

オーバーレイ指示: フォームオーバーレイ マクロオーバーレイ

イメージのプレロード: しない する

追加...
削除

オーバレイレコードを出力する

設定 取消

SX7000 [新APレコード] 印刷環境設定

コントローラ設定: 有効 無効 オンライン情報

オンライン情報

拡張形式: 有効 無効

満了日: 年月日
 経過日数 設定

サブシステム種別: シングル

プリンタ種別: 1

動作環境:

処理フラグ: 処理待ちの先頭に登録
 処理待ちの最後に登録
 待機状態で登録

コメント:

設定 取消

印刷環境設定 (3 / 3)

SX7000 [新APレコード] 印刷環境設定

コントローラ設定: 有効 無効 帳票管理情報

帳票管理情報

帳票管理ファイル: 有効 無効

クラス:

帳票名:

表示項目1:

表示項目2:

表示項目3:

上書き: する しない

手動削除: する しない

自動削除: しない

印刷直後に削除

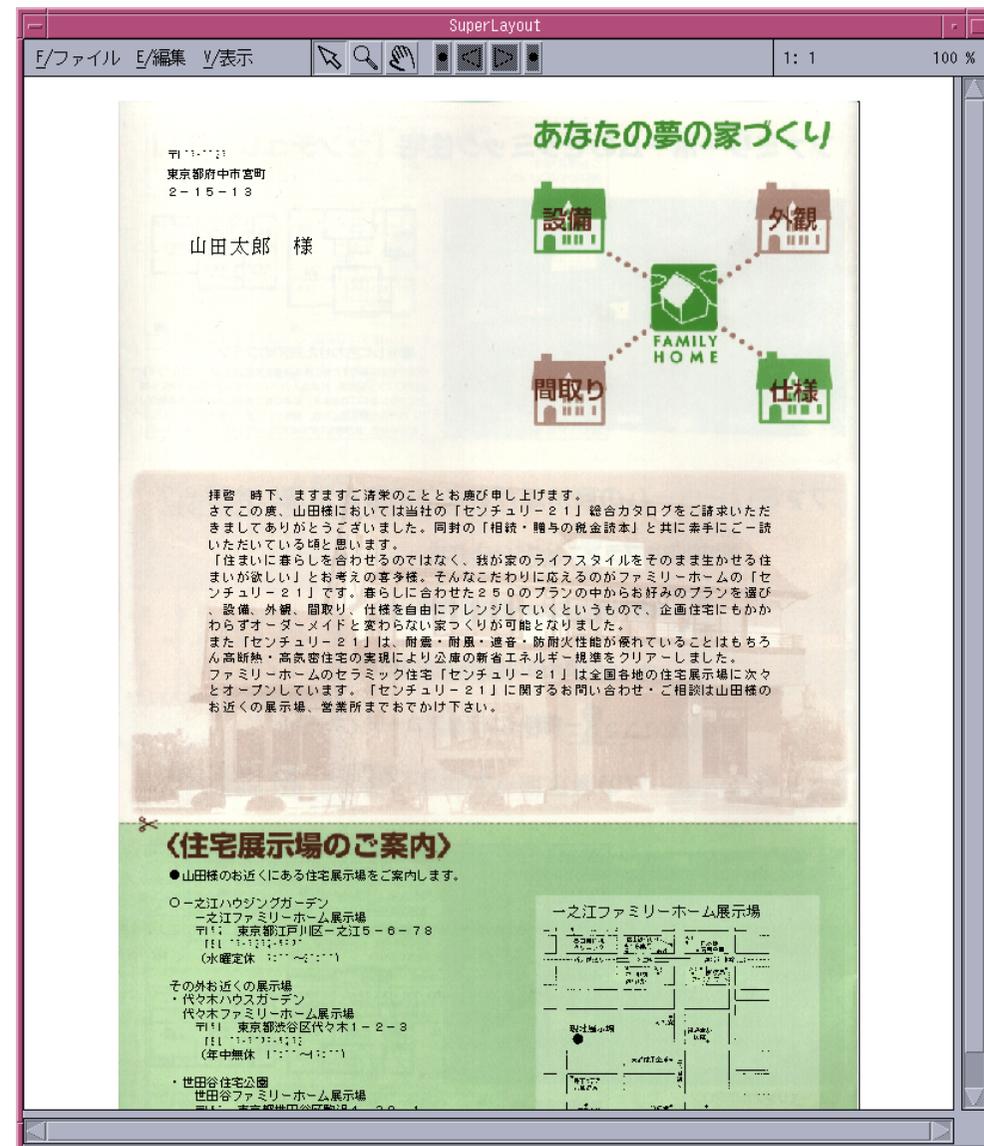
指定年月日経過後に削除 経過年月日:

設定 取消

バッチ実行結果（プレビュー）

・実行

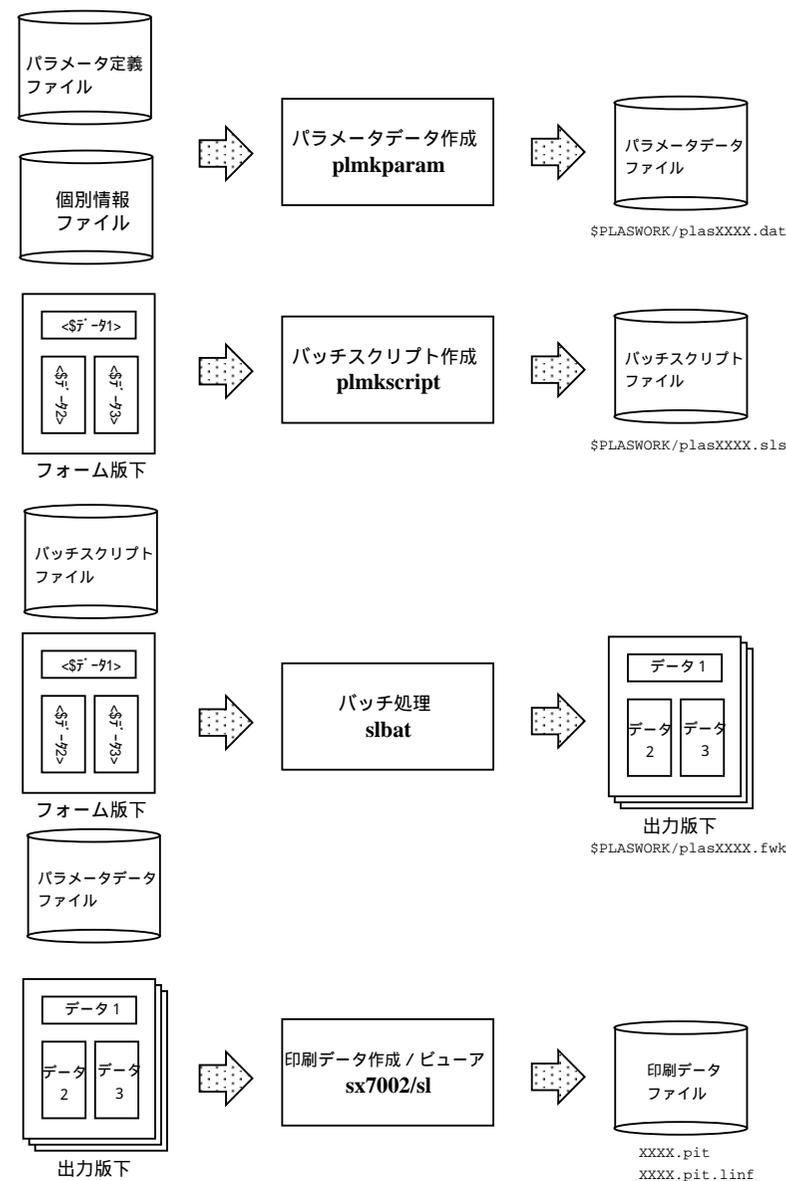
バッチ実行結果を画面に表示します。



バッチ実行の流れ

- 入力データ（個別情報ファイル）からパラメータ定義によりデータを切り出し、パラメータデータファイルを作成する。パラメータデータファイルは、各パラメータをタブで区切った内部データ（EUCコード）のファイルになります。
- フォーム版下からバッチスクリプトを作成する。
- バッチプログラムでバッチスクリプトを実行し、出力版下を作成する。
- 出力版下から印刷データファイルを作成する。

上記処理の中でエラーが発生した場合は、処理が異常終了します。エラーの原因は、「エラー表示」で確認します。



ジョブの定義と実行

複数回の実行に便利です。

- ・ フォーム版下
フォーム定義で作成したフォーム版下を選択します。
- ・ 入力データ
入力データとなる個別情報ファイルを選択します。
- ・ パラメータ
パラメータ定義で作成したパラメータを選択します。
- ・ 割付フォーム
複数のフォームを用紙上に配置する時に指定します。
- ・ 出力プリンタ
出力するプリンタを選択します。

プレビュー	結果を画面表示
SLPrint	モニタプリント
SX7000[新A Pレコード]	新A Pレコードデータ作成
SX7000[新A Pレコード]転送	データ作成後に転送
NULL	バッチ処理のみ行う
- ・ 出力範囲
印刷するレコードの範囲を指定する。
- ・ 保存
ジョブの情報を保存します。
- ・ 実行
ジョブを実行します。バッチ実行と同じ処理ができます。

ジョブ編集 - プリンテッパ

フォーム版下: プリンテック1 [参照...]

入力データ: printek.req [参照...]

パラメータ: プリンテック [参照...]

コード範囲チェック チェックしない 漢字: [] 欧文: []

割付フォーム: [] [参照...]

出力プリンタ名: SX7000[新A Pレコード] [印刷環境設定...]

出力ファイル名: printek.sxap [参照...]

転送ホスト名: 転送しない 転送後出力ファイルを削除

出力ファイル分割: しない する [] レコードで分割

出力範囲: 全レコード
 指定レコード [] レコード目から [] レコードまで
 問い合わせる

ログ出力: する しない

分割処理レコード数: [0]

コメント: []

[保存] [実行] [終了]

ATOK